**思春期のためのおとなのこころがまえ（講師資料の一部）**

**凸凹のための“こころがまえ”**

How to ではない

いや、ある。あるけどそうじゃない

見立てて、考えて、試して、振り返る

初期段階では“どうしたらいい”か分からなくてもいい

子育てに必要な最大のもの

スキル先行は良くない

一周回って人として向き合う

**SNSと対人トラブル**

「そらそうよ」

彼らの認知や情緒で扱える代物ではない

どうやって制限するか？

1. 幼少期から親のコントロールの下で使うものと教え込む
2. ②制限する：酒、たばこ、車と同じ（あるいはドラッグ）

少なくとも監視は必要、合意できないなら却下

**金品の持ち出し**

理由や背景を探る

盗む対象は？　　何に使うのか？保持？譲渡？

盗むことでその子は何を達成したか？

法律や警察に対する認知は？

法律や行政処分の確認はしておいた方が良い

金銭のバラマキで注意を引く子

行為そのものにはブレーキ　ただし並行して原因の解決が必須

適切な注意の引き方を教える

分かってるふう

“いい感じの”対人テクスチャ

説明ができる≒理解している　アラビア語にも、きっと相槌が打てる

言語の特性を理解する

抽象①（思い/思考）→具体（記号としての言語）→抽象②（再解釈）

抽象①と抽象②が同じかどうかは分からない

きっと「同じだよね」という前提で言語を使っている

理解を確かめよう

そういう意味で信用はしない

気まずさという呪い

周りの目が気になる

メタな視点は必要

自分を練り上げていくための“摩擦”に耐えられない

いい子症候群（金沢・金間大介教授）

素直でまじめだが、自分で決めることができない

自分の気持ちや欲求が分からないのでは？

自分の意思を尊重する練習

安心・安全の担保

表出する練習＋適切な表現の練習

枠・壁としての大人

枠は大事　　　基本ルール　　　守破離で言うと守

触る・障る　　手触りで輪郭を知る　　摩擦は必要

自由≒カオス　　基準がないと型破りもへったくれもない

子どもは大人の鏡

大人のリアクション

場を支配する力　　関係性を定義する力　　良くも悪くも使える

まず大人が歩み寄る　　関係構築の第一歩

30歳で大人になればOK

幼い子が多い現代　　　思春期の遅れ

そういう気持ちで見守ることでの余裕　　本人を圧迫しない関わり

無気力な子・自信がない子

やれることから

まずは「楽しいこと」　　次に「嫌いじゃないこと　　最後に「しんどいこと」

「できた」はみんな好き

積み重ねていく

年齢不相応でも良いので大人が盛り上げていく

負荷は様子を見ながら、でも勇気をもってトライ

OD・リスカ

行動　　ダメ、絶対　　行動の是非についてはハッキリ線引きを

気持ち　仕方ない気持ちは受け止める　　でも別の方法を模索・練習しましょう

背景　　そもそもなんでそうなったか